

## 北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第20週(令和8年5月11日～令和8年5月17日)

## &lt;発生動向&gt;

第20週の定点あたりの報告数は、咽頭結膜熱で1.69、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎で3.69、手足口病で1.77、ヘルパンギーナで0.46、感染性胃腸炎で7.62と前週より増加しました。

ヘルパンギーナは、乳幼児を中心に夏に流行しやすい感染症で、発熱とどの痛み、口の中に水疱性の発疹ができる急性のウイルス性咽頭炎です。発熱は1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。発熱時に熱性けいれんなどを伴うこともあります。ほとんどは数日以内に回復しますが、脱水にならないよう少しずつ水分を摂るようにしましょう。感染経路は主に経口(糞口)感染、接触感染、飛沫感染です。回復後にも便からウイルスの排出がしばらく持続することがあるため、おむつ交換後を含めたこまめな手洗いが大切です。また、タオルや遊具(おもちゃなど)の共有をしないこと、飛沫感染対策としてのマスク着用や咳エチケットを心がけましょう。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	4	60	18	286	107	4,886
梅毒	1	40	7	242	79	3,873
百日咳	1	21	7	119	39	2,708

## ■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	3	0.13	0.26	35	0.29	1,266	0.34
インフルエンザ	4	0.17	0.30	8	0.07	662	0.18
急性呼吸器感染症	1,201	52.22	47.74	5,836	47.84	135,274	36.32
RSウイルス感染症	5	0.38	1.00	37	0.53	615	0.27
咽頭結膜熱	22	1.69	0.77	75	1.07	586	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	3.69	2.08	357	5.10	3,637	1.61
感染性胃腸炎	99	7.62	5.46	412	5.89	6,970	3.09
水痘	3	0.23	0.15	67	0.96	874	0.39
手足口病	23	1.77	1.46	150	2.14	800	0.35
伝染性紅斑	0	0.00	0.08	1	0.01	120	0.05
突発性発しん	3	0.23	0.15	37	0.53	540	0.24
ヘルパンギーナ	6	0.46	0.08	43	0.61	133	0.06
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	4	0.06	62	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	7	0.01
流行性角結膜炎	3	0.50	0.33	30	1.15	251	0.36
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	11	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.50	1	0.07	81	0.17
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	4	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.50	0.00	1	0.07	30	0.06

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。